|  |
| --- |
| かずきのBlog@hatena |
| Enterprise Library 5.0入門 |
| Enterprise Libraryの基本的な使用方法 |
|  |
| **okazuki** |
| **2012/04/03** |

|  |
| --- |
| 2011年5月にリリースされたEnterprise Library 5.0の入門になります。 |

改版履歴

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | **改版内容** |
| 2012/04/04 | 初版作成 |

目次

[1. はじめに 3](#_Toc321344590)

[1.1. 前提条件 3](#_Toc321344591)

[2. Enterprise Libraryとは 3](#_Toc321344592)

[1.2. Enterprise Libraryの構成 3](#_Toc321344593)

[3. Hello world 4](#_Toc321344594)

# はじめに

ここでは、Microsoftのpattern & practiceチームが2011年5月にリリースしたEnterprise Library 5.0について著者の学習もかねて記載したものになります。記載内容に誤りを見つけた方はお手数をおかけしますが下記メールアドレスまたは、Twitterアカウントまで連絡ください。

* メール：[k\_ota28@hotmail.com](mailto:k_ota28@hotmail.com)
* Twitter: okazuki

## 前提条件

本書では、Visual Studio 2010を使用して.NET Framework 4(Client Profileではない)を使用しています。

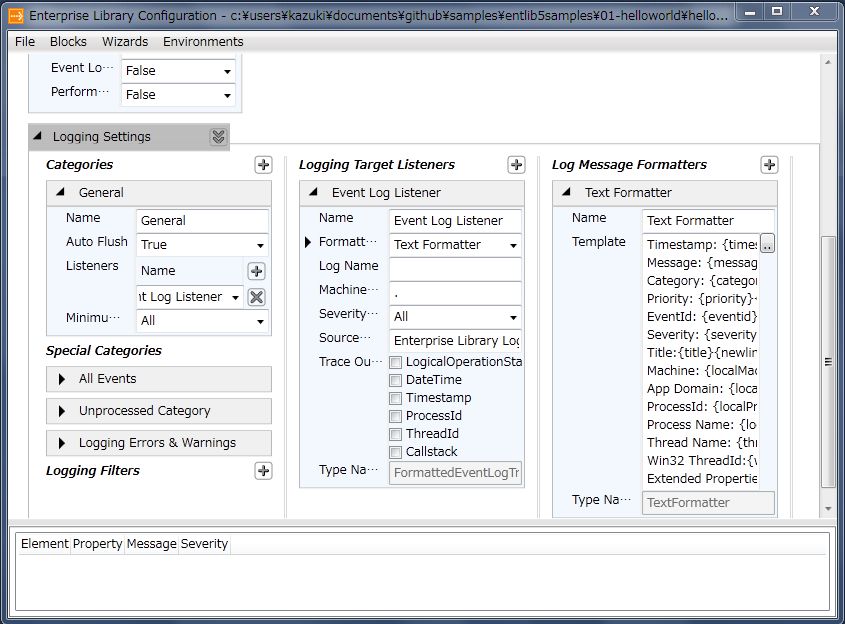
## Enterprise Libraryとは

Enterprise Libraryとは、Microsoftのpattern & practiceチームが開発しているエンタープライズアプリケーションの開発のベストプラクティスを集めたライブラリです。このライブラリの特徴は、UnityというDIコンテナを軸にしてEnterprise Libraryが提供している機能(アプリケーションブロックと呼ばれる)を組み合わせて使用できるという点です。そのためEnterprise Libraryが提供している機能のうちのごく一部を使うことも、全機能使うことも問題なく出来ます。

また、Unityを使用せずに自分のプログラムから直接使用することも可能なように作成されています。本書では、UnityをDIコンテナとして使用して各アプリケーションブロックの機能を利用する方法を説明します。

## Enterprise Libraryの構成

Enterprise Libraryには下図のような構成ツールが付属していて、これによりグラフィカルにapp.configやweb.configを設定することが出来ます。ここで設定した内容によって各アプリケーションブロックの機能をカスタマイズすることが出来ます。



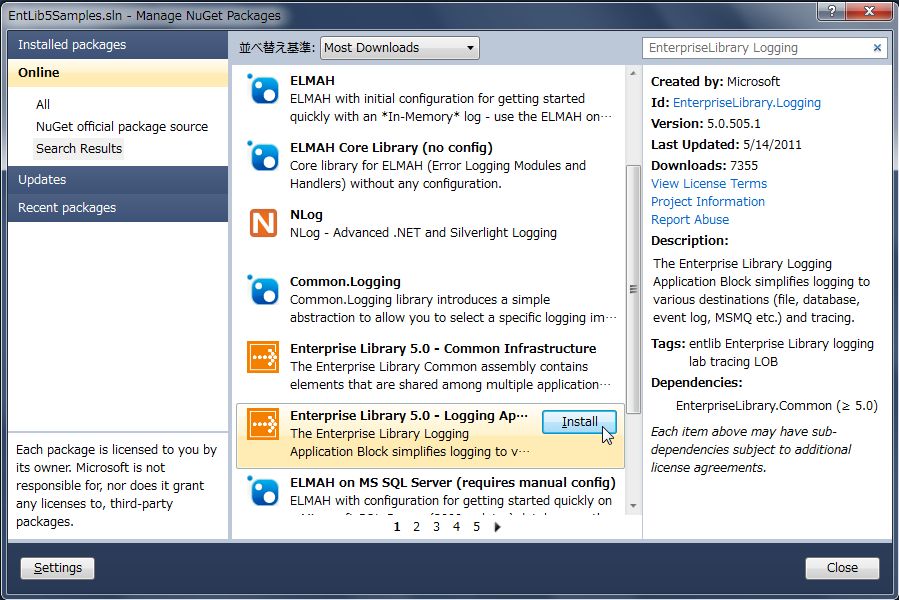
Enterprise Libraryでは、app.configなどの構成ファイル以外にもアプリケーションから構成情報を組み立てるFluent APIも提供しています。本書では、サンプルプログラムとしての見通しを優先するためFluent APIによる構成情報の組み立てを優先して使用します。

## Hello world

Enterprise Libraryは、使用するブロックを選択する、構成する、構成情報を読み込む、DIコンテナから使用する機能を提供するクラスを取り出す、プログラムで使用するという流れで使用します。ここでは、Loggin Application Blockを使ってHello worldというログをイベントログに出力する方法を通じて基本的なEnterprise Libraryの使い方について説明します。

## プロジェクトの作成と参照の追加

HelloWorldという名前でコンソールアプリケーションを作成します。そして、プロジェクトのプロパティからターゲットのプラットフォームを.NET Framework 4に設定します。そしてNuGet Package Managerから「EnterpriseLibrary Logging」で検索をしてプロジェクトに追加します。



プロジェクトに参照が追加されたら、続けて参照の追加からSystem.Configurationを追加します。以上でプロジェクトの参照の設定は終了です。（昔はこの参照設定を整えるだけで一仕事だったのですが、いい時代になったものです…）Program.csを開いて下記のように編集します。